

本会の活動から

乳がん啓発イベントに協力

乳がん啓発月間中の10月17日、東京都と大田区の連携事業「ピンクリボン in マチノマ大森」が、商業施設「マチノマ大森」との共同で開催された。

大田区在住の40歳以上の女性を対象とした同イベントでは、乳がん検診（マンモグラフィ検査）が行われた他、希望制で大腸がん検診（便潜血検査）も同時実施された。

当日はあいにくの雨模様だったが43人が受診。本会は同イベントに協力し、両がん検診を担当した。

東京都が小児スクリーニング科を視察

10月22日に東京都福祉保健局少子社会対策部の担当者ら4人が本会を訪れ、先天性代謝異常症等のスクリーニングにおける検体受付から結果報告に至る検査の現状を視察した。

本会では東京産婦人科医会の協力を得て、1974年から新生児の先天性代謝異常症等のスクリーニングに取り組んでいる。先天性代謝異常症の中には、出生後早期に発見し、適切な治療を行うことで急性期の重い症状や知能障害、発育障害などの発症を予防できるものがあり、そうした患児を見つけ出すために行われている。

現在本会は、東京都からの委託を受け、20疾患について都内の新生児マススクリーニングを行っている。

東海大学生の現場実習に協力

本会では毎年、東海大学健康科学部看護学科が行う公衆衛生看護学に関する統合実習に協力している。今年も10月12日に7人の学生を受け入れた。実習では、労働衛生機関における看護職の役割についての聴講および保健相談の見学が行われた。

産業医科大学生の現場実習に協力

本会では、産業医科大学が5年生を対象に行っている産業医学現場実習に協力している。

この実習は、現場における産業医の役割と活動を学生が実際に体験することで、産業医業務に関する理解を深め、産業医志向をより高めることを目的としている。今年はコロナ禍によりリモートで行われ、11月9～13日の5日間にわたり、1班(8人)の学生にカリキュラムを提供した。

学術集会への参加等

・第28回日本乳癌学会学術総会が10月9～31日、「We Can Do—making better future」をテーマにオンライン開催され、がん検診・診断部長の坂佳奈子が参加。パネルディスカッション「乳癌個別化検診に向けて——検診の功罪」で講演した他、ポスター発表を行った。

・第5回胃がん検診専門技師研修会が10月1日～11月1日、オンデマンド配信され、放射線部の職員2人が参加した。

・第305回東京産婦人科医会臨床研究会が10月31日、東京都新宿区で開催され、検査研究センター長の木口一成が参加。講演「子宮頸がん検診のパラダイムシフト——HPVをターゲットにした新戦略」の座長を務めた。

・第28回日本消化器関連学会週間（JDDW 2020 KOBE）が11月5～8日に開催され、消化器診断部長の川崎成郎がWeb参加した。

・第30回日本乳癌検診学会学術総会が11月22～23日、「マンモグラフィ検診の20年と次世代への架け橋」をテーマに宮城県仙台市で開催され、がん検診・診断部長の坂佳奈子が参加。「乳房超音波診断ガイドライン第4版改訂のポイント」で座長と演者を務めた他、「ワークショップ2」で「トモシンセシスによる乳がん検診の可能性と問題点」と題して発表を行った。

第260回 学校保健セミナー

学校生活における 新型コロナウイルス対策

講師 | 堀 成美 氏
 国立国際医療研究センター 客員研究員
 東京都看護協会 危機管理室 アドバイザー
 東京都港区 危機管理室 感染症専門アドバイザー

配信期間 | 2020年12月23日～2021年3月31日(予定)

配信方法 | 以下のURLまたは右のQRコードからアクセスしてください。

https://www.yobouigaku-tokyo.or.jp/news/seminar/260_gakkohoken.html

聴講料 | 無料

主催 | 一般財団法人東京都学校保健会
 公益財団法人東京都予防医学協会

問い合わせ | 東京都予防医学協会 地域・学校保健事業部
 ☎03-3269-1131

第295回 ヘルスケア研修会

美味しく楽しく食べて健康に 科学的根拠に基づく食事法・ロカボについて

講師 | 山田 悟 氏
 北里大学 北里研究所病院
 糖尿病センター長

配信期間 | 2021年 1月15日～ 4月14日(予定)

配信方法 | 以下のURLまたは右のQRコードからアクセスしてください。

https://www.yobouigaku-tokyo.or.jp/healthcare_cc/next.html

聴講料 | 無料

主催 | 健康管理コンサルタントセンター
 公益財団法人東京都予防医学協会

問い合わせ | 東京都予防医学協会 広報室
 ☎03-3269-1131 内線2241、2242

新生児マスククリーニング用

アミノ酸・アシルカルニチン測定用 内部標準原液セット

NeoSMAAT[®]

ネオスマート

SEKISUI



特長

- ◆ 溶液タイプの試薬で簡単調製！
- ◆ 内部標準溶液にC14:1を含有！
- ◆ 付属のカートリッジカラムで、汚れ等機器への負荷を軽減！

製品内容

製品コード	製品名 (構成試薬名)	包装	有効期間	貯法
509254	アミノ酸・アシルカルニチン測定用内部標準原液セット NeoSMAAT [®]			
	(アミノ酸内部標準原液)	1mL(192検体分)×5本	12カ月間	2～8℃
	(アシルカルニチン内部標準原液)	1mL(192検体分)×5本		
	(アミノ酸チェック原液)	0.5mL×1本		
	(アシルカルニチンチェック原液)	0.5mL×1本		
(カートリッジカラム)	500検体測定用×2個			

※本品は体外診断用医薬品ではありません。
 ※ご使用に際しては取扱説明書を良くお読みください。

製造元

積水メディカル株式会社

〒103-0027 東京都中央区日本橋二丁目1番3号

【お問合せ先】コールセンター：0120-249-977

<http://www.sekisui-medical.jp/>

謹んで新春のご挨拶を申し上げます
昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で
日常生活や経済活動が大きく制限された1年でした
いまだ厳しい状況が続いておりますが
都民の皆様の健康づくりのお役に立てるよう
今年も役職員一丸となって取り組んでまいります
どうぞよろしく申し上げます

公益財団法人東京都予防医学協会
役職員一同

●個人情報の取扱いについて

日頃より、公益財団法人東京都予防医学協会の機関誌「よぼう医学」をご愛読くださりありがとうございます。

本会では、「よぼう医学」を送付させていただいている皆様について、送付に必要な情報（氏名、住所、所属、役職など）を送付名簿として保持しております。

これらの個人情報の収集、保存、利用につきましては、本会の個人情報保護方針に基づき、厳重な管理の下に運用しております。送付名簿からの削除や変更を希望される場合には、お手数ですが、下記広報室までご連絡ください。

●送付先の変更・送付中止について

送付先の変更・送付中止を希望される場合には、広報室までお知らせください。

Eメール koho@yobouigaku-tokyo.jp
F A X 03-3269-7562
T E L 03-3269-1131



健康管理コンサルタントセンター コンサルテーションのご案内

健康管理相談を お引き受けします

健康管理コンサルタントセンターの幹事である医師が事業所、学校、各種団体の健康管理をアドバイスいたします（予約制・無料）。

お問い合わせ・
お申し込みは事務局まで

健康管理コンサルタントセンター 事務局

東京都新宿区市谷砂土原町1-2
公益財団法人東京都予防医学協会 広報室
TEL 03-3269-1131 内線2241、2242

あなたの健康づくりを全力サポート!

よぼう医学

2021 WINTER 新年号 No.11
2021年1月15日発行 通巻第539号

●発行人 小野良樹
●発行所 公益財団法人東京都予防医学協会
〒162-8402 東京都新宿区市谷砂土原町1-2
TEL : 03-3269-1121
FAX : 03-3260-6900
URL : <https://www.yobouigaku-tokyo.or.jp>

●企画 広報企画委員会
●編集 広報室
●デザイン 大谷達也(有限会社アイル企画)
●印刷 大日本印刷株式会社

●『よぼう医学』は本会ホームページ(<https://www.yobouigaku-tokyo.or.jp>)からもご覧いただけます。

※本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断転載をお断りします。



一足先に未来のカタチに。

「ESPACIO AVANT」は先進のX線検出器「FPD」を採用。車載でありながら、医療機関などで使われるX線システムと同等のX線透視・撮影パフォーマンスをいち早く実現しました。「検診」の未来を一足先にカタチにしたのは、日立の技術です。

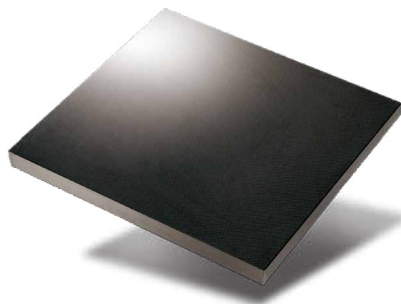
ESPACIO AVANT

胃部集団検診X線システム



省スペース化 FPDシステムを採用

ワイドレンジで歪みや感度ムラのない画像を描出する薄型・軽量のFPD(Flat Panel Detector)を採用。コンパクトでありながら高画質な透視・撮影画像を提供します。



新画像処理エンジン

FAiCE-V NEXT STAGE1+

FAiCE-V NEXT STAGE1+ 搭載

日立独自の画像処理エンジンが、高画質化と低被ばくを実現。視認性の向上と細部の明瞭化など、透視画像を高精細に描き出します。